

# 2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

---

2021年11月12日



**内外テック株式会社**  
JASDAQ3374

# 2022年3月期 第2四半期 連結業績

代表取締役社長 岩井田 克郎

## 業績

- **2022年3月期 第2四半期は、売上高・利益ともに期初予想を上回り、前年同期比では増収増益を達成**
  - ⇒ ロジック・メモリー投資の増加による好調。  
5G通信の普及やデータトラフィック量の急増によるデータセンター向けの他、幅広い用途での旺盛な半導体需要を背景に、設備投資が堅調に推移。
- **2022年3月期は、原材料の不足や調達難などの不安定要素があるも、ロジック・メモリーを中心に需要が更に増加するとの見通しから上方修正。引き続き増収増益を見込む**

## トピックス

- **設備投資計画を決定**
  - ⇒ 内外エレクトロニクス 奥州事業所第二工場の新設・福島事業所の増築。
  - ⇒ 半導体市場の需要拡大への生産対応、及び顧客からのより高機能・高性能の要求が高まる真空／制御技術に対応する開発力を強化。

## 予想を上回る大幅な増収増益に

(百万円、%)

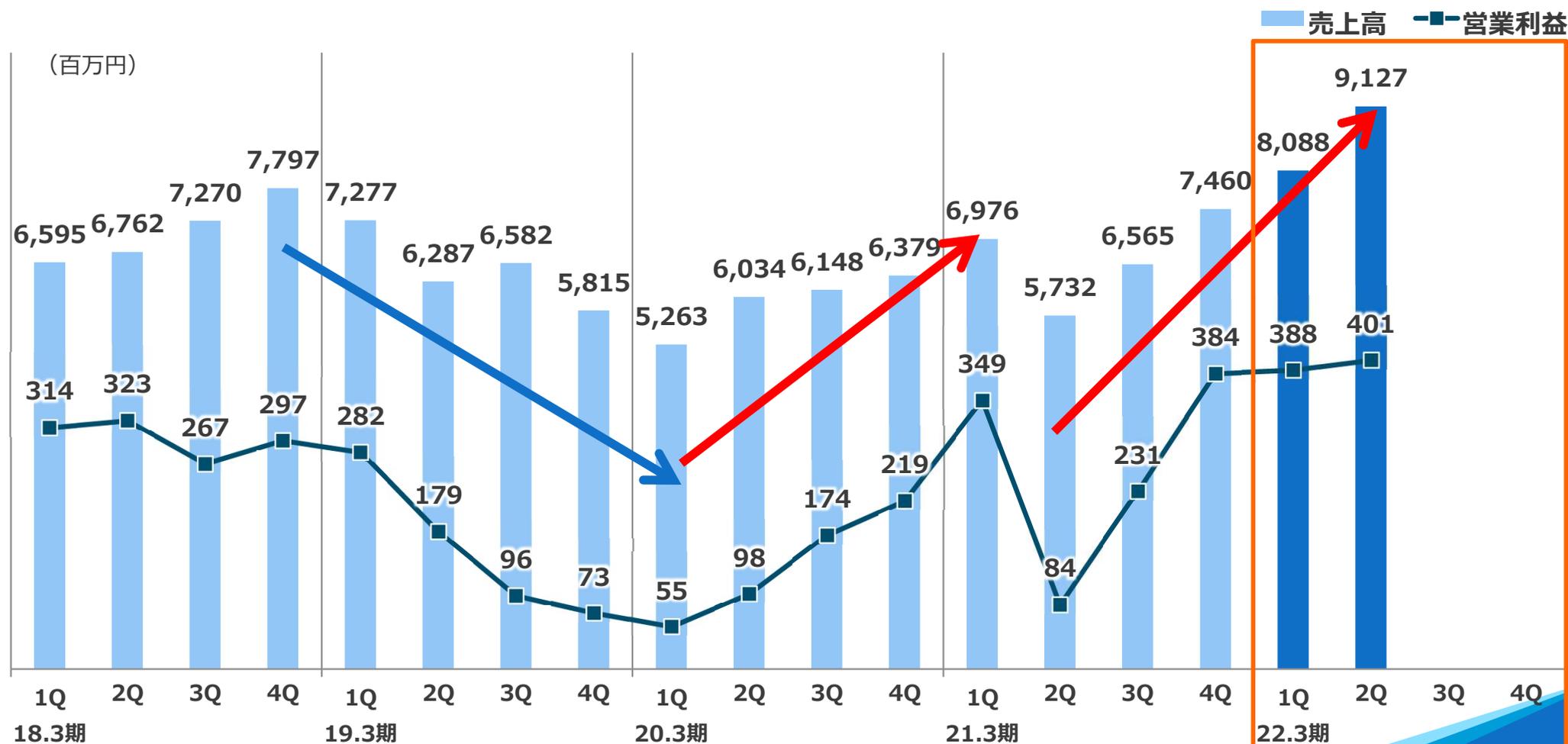
	2021.3期 上期			2022.3期 上期			期初予想
	実績	前年同期比	構成比	実績	前年同期比	構成比	
売上高	12,709	12.5	100.0	<b>17,215</b>	35.5	100.0	14,760
売上原価	11,230	11.1	88.4	<b>15,272</b>	36.0	88.7	-
販管費	1,045	0.9	8.2	<b>1,152</b>	10.3	6.7	-
営業利益	434	2.8倍	3.4	<b>790</b>	82.1	4.6	637
経常利益	425	2.9倍	3.4	<b>781</b>	83.5	4.5	630
親会社株主に帰属する 当期純利益	274	3.6倍	2.2	<b>527</b>	92.5	3.1	425

- 売上高は、リモートワーク等によるデータトラフィック量の増加等を背景とした堅調なロジック投資の更なる増加に加え、メモリー投資の増加により好調が続く。
- 販管費は、取扱量の増加のため人件費・物流費が増加するも、効率化の推進により微増。
- 各段階利益は、増収効果により増加。

# 売上高・営業利益（四半期ベース）の推移

## 売上高は、半期・四半期ベースともに上場来最高を更新 営業利益は、半期ベースで上場来最高を更新

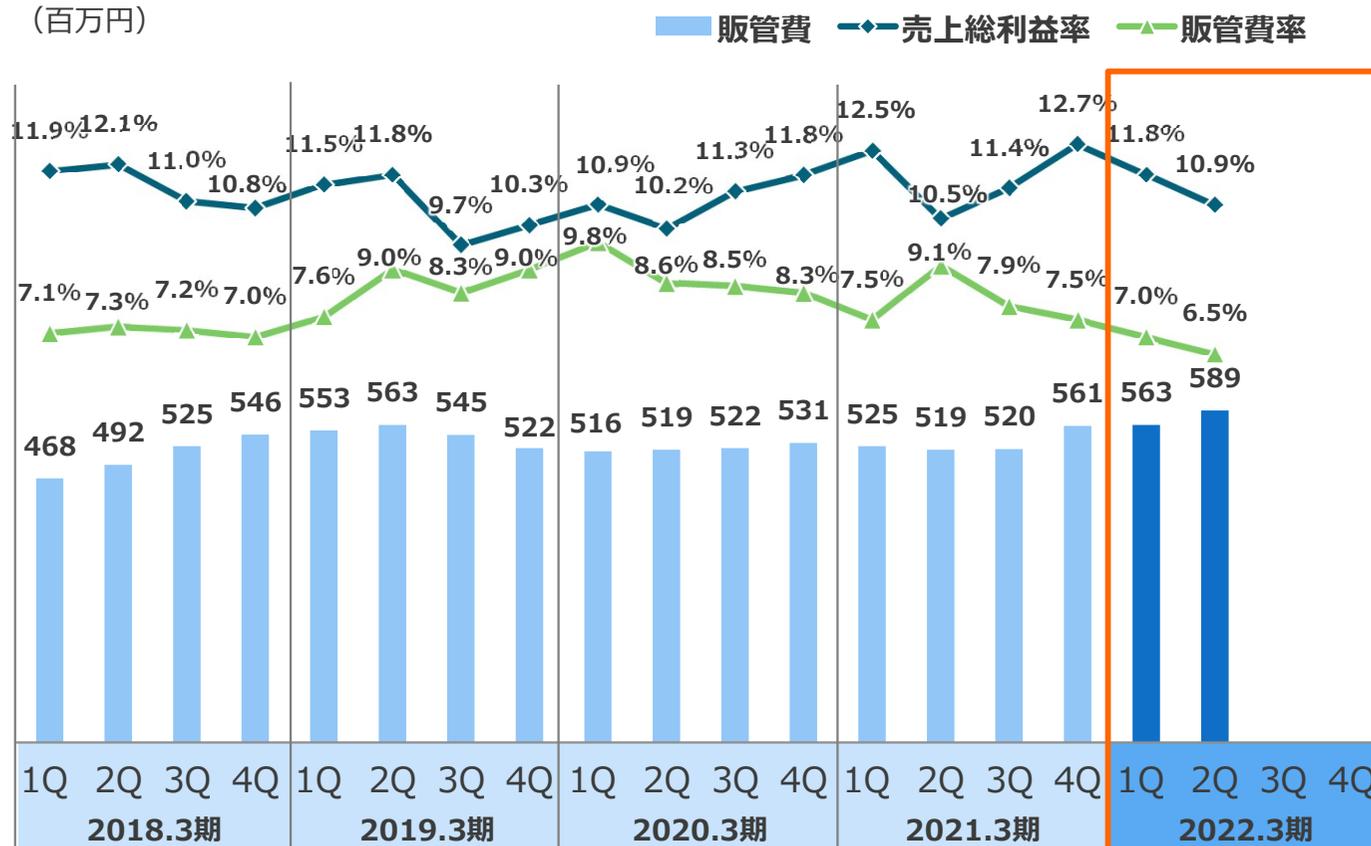
- ロジック・メモリー投資とともに堅調に推移し、前2Q以降は増収傾向
- 営業利益は増加傾向なるも、今後の増産体制に備えた人員確保のための労務費が先行し、増加幅は鈍化



# 売上総利益率・販管費（四半期ベース）の推移

## 売上総利益率は、先行費用により若干低下 販管費率は増収により大幅に低下

(百万円)



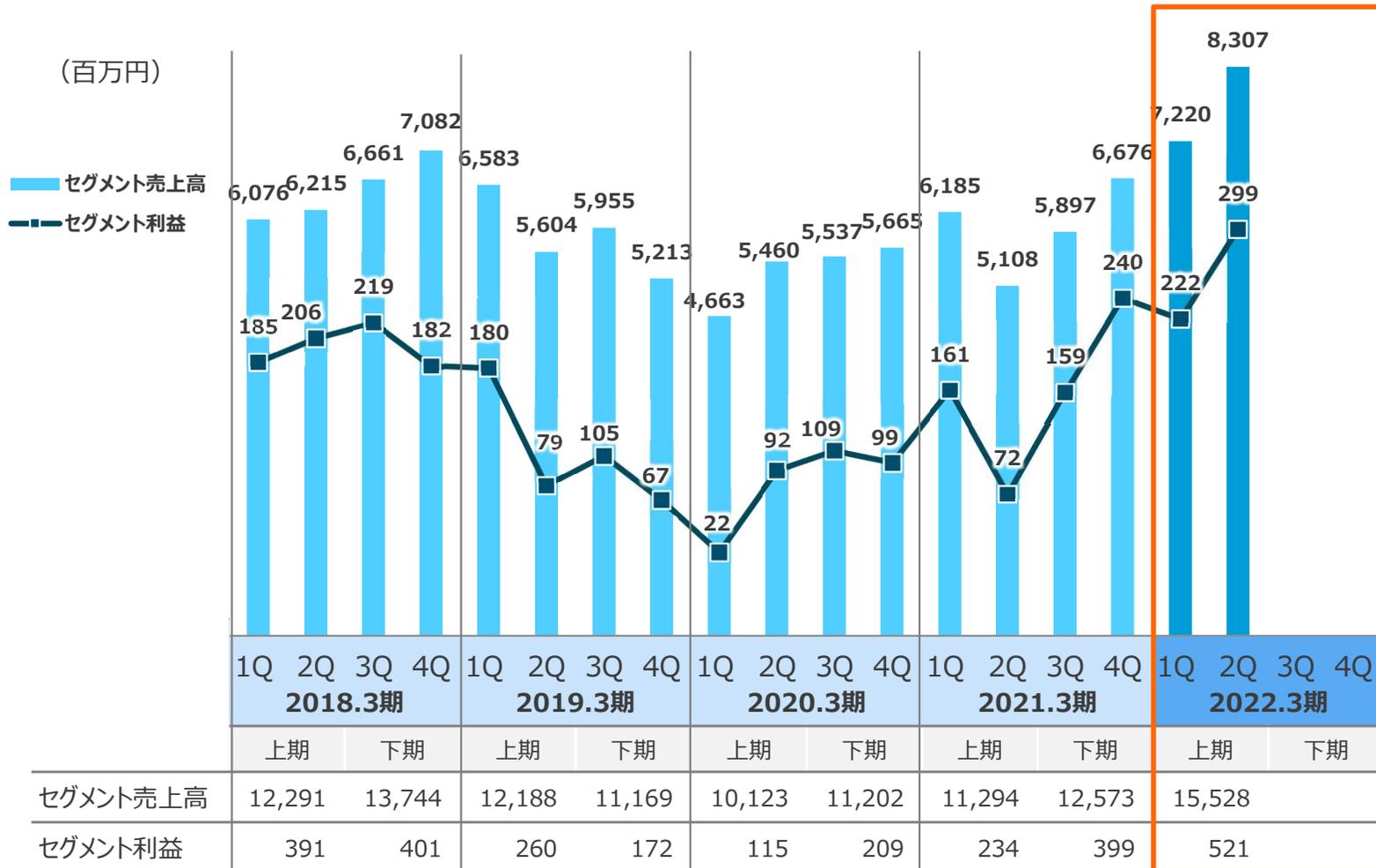
### 売上総利益率

- 今後の増産及び成長に向けた人材確保により売上原価が増加。

### 販管費・販管費率

- 販管費は、取扱量の増加に伴い人件費・物流費が増加するも、効率化の推進により一定水準で推移。
- 増収効果により販管費率は低下。

## 半期ベースで上場来最高の売上高・利益を更新



**セグメント売上高 15,528百万円**  
(前年同期比 37.5% )

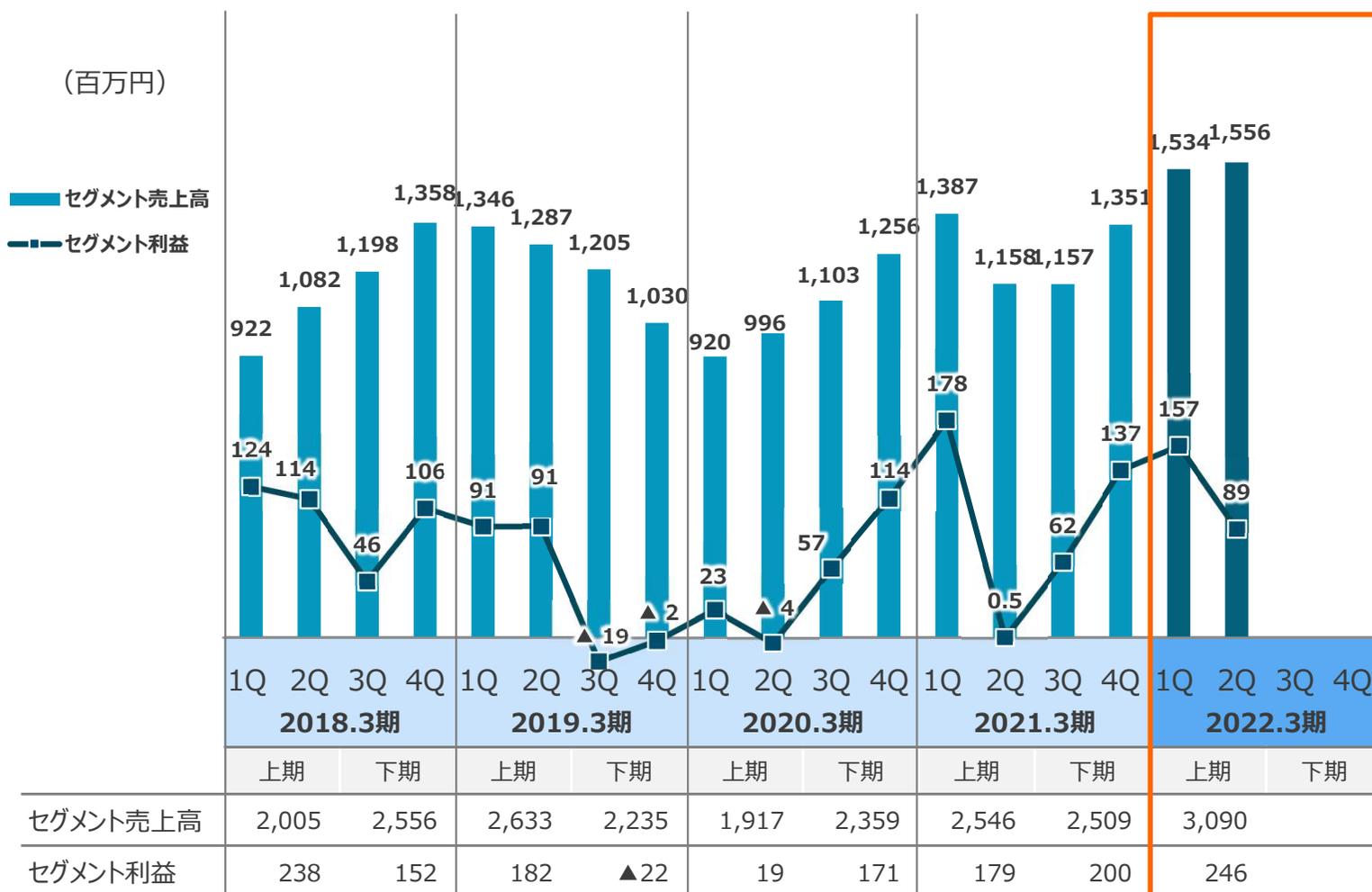
- PCやスマートフォン向けその他、車載向け等半導体需要の活況を受けて、ロジック・メモリー投資ともに拡大し、増収。

**セグメント利益 521百万円**  
(前年同期比 2.2倍 )

- 売上増加が寄与し、大幅な増益。

(注) セグメント売上高は、連結調整前の数値となっています。  
セグメント利益は、連結営業利益の調整額前の数値となっています。

## 半期ベースで上場来最高の売上高・利益を更新



**セグメント売上高 3,090百万円**  
(前期比 21.4% )

- 半導体主要メーカーの投資拡大を受けて、主要顧客の増産が続き増収。

**セグメント利益 246百万円**  
(前期比 37.7% )

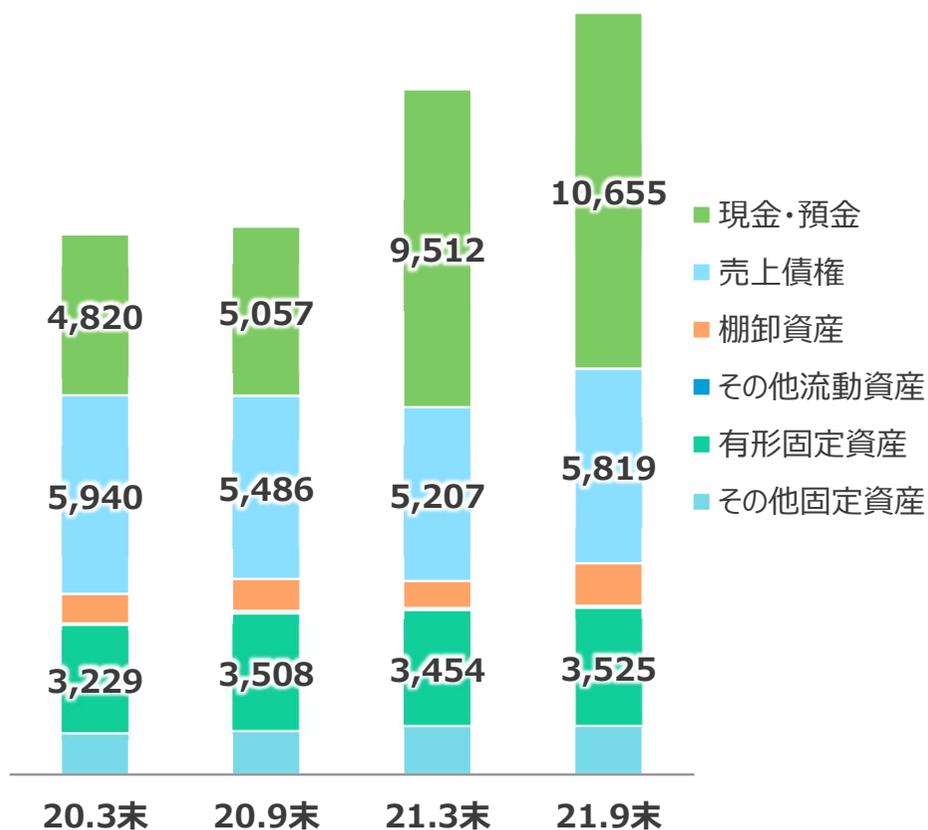
- 今後の増産に備えた製造人員の増員による労務費増加のため、2Qは1Qに比べ利益減少。
- 部材取扱量増加のため、物流費増加。

(注) セグメント売上高は、連結調整前の数値となっています。  
セグメント利益は、連結営業利益の調整額前の数値となっています。

# 貸借対照表

## ◆ 資産

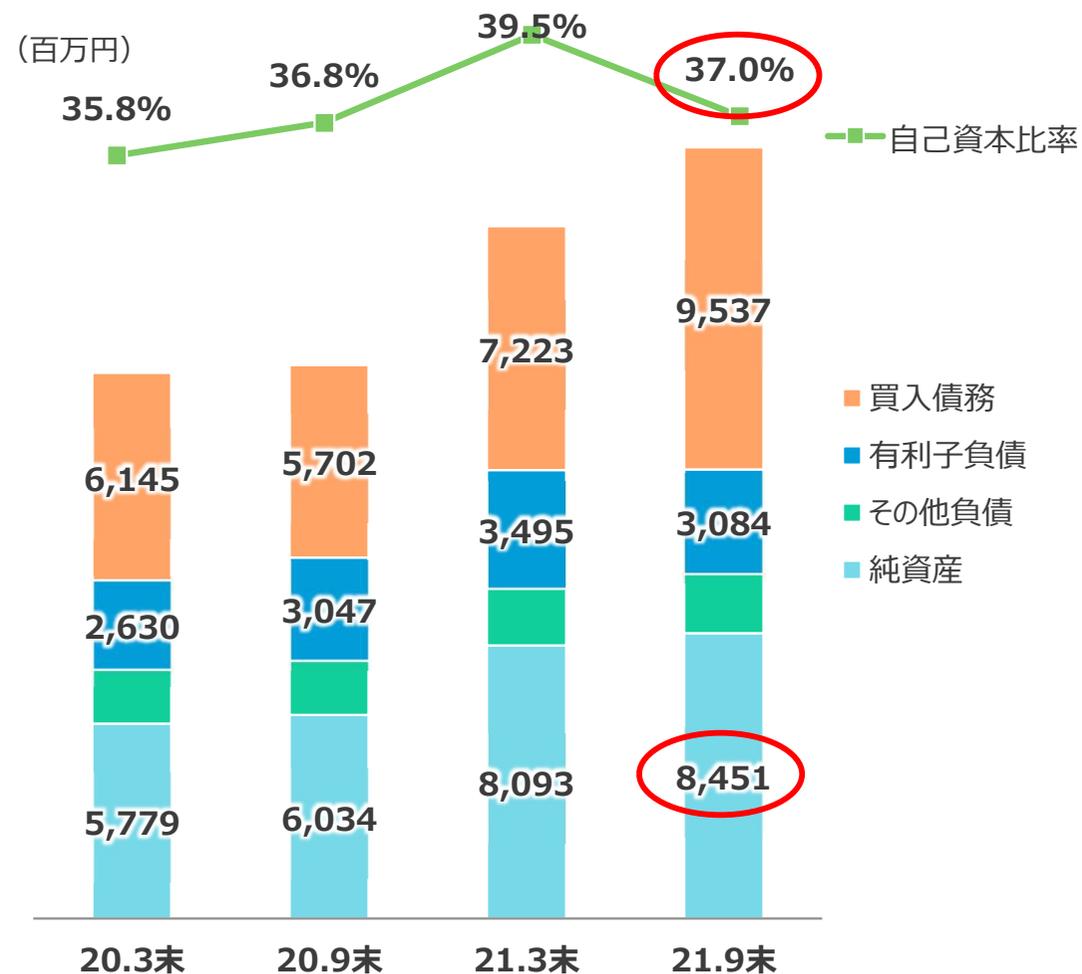
(百万円)



- 売上増加により現預金は11億42百万円増加。
- 売上増加に伴い売上債権は6億12百万円増加。

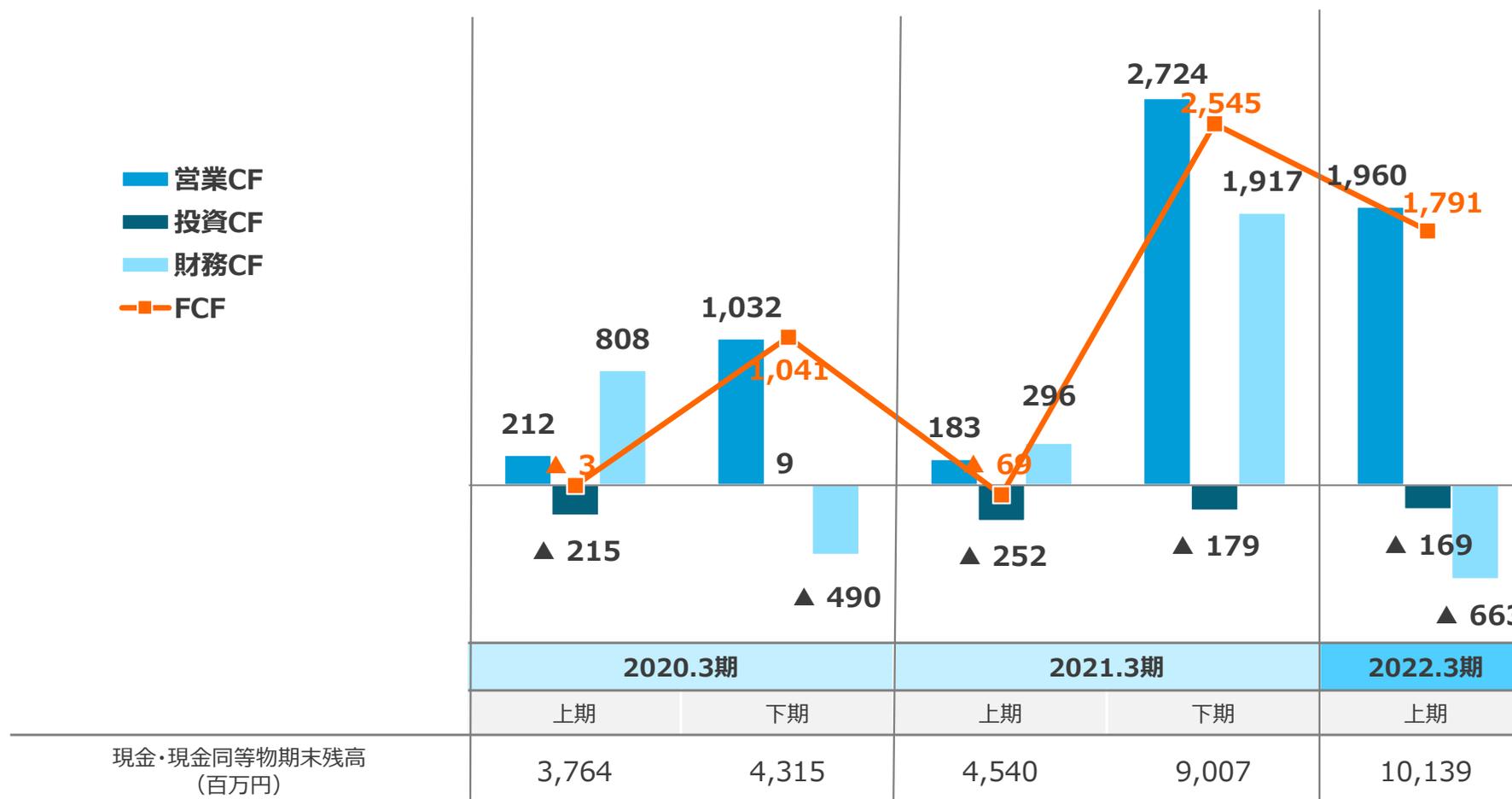
## ◆ 負債・純資産

(百万円)



- 利益の積み上げにより純資産は3億58百万円増加。
- 売上増及び原材料確保のための先行仕入により買入債務が増加。
- 買入債務の増加から、一時的に自己資本比率低下。

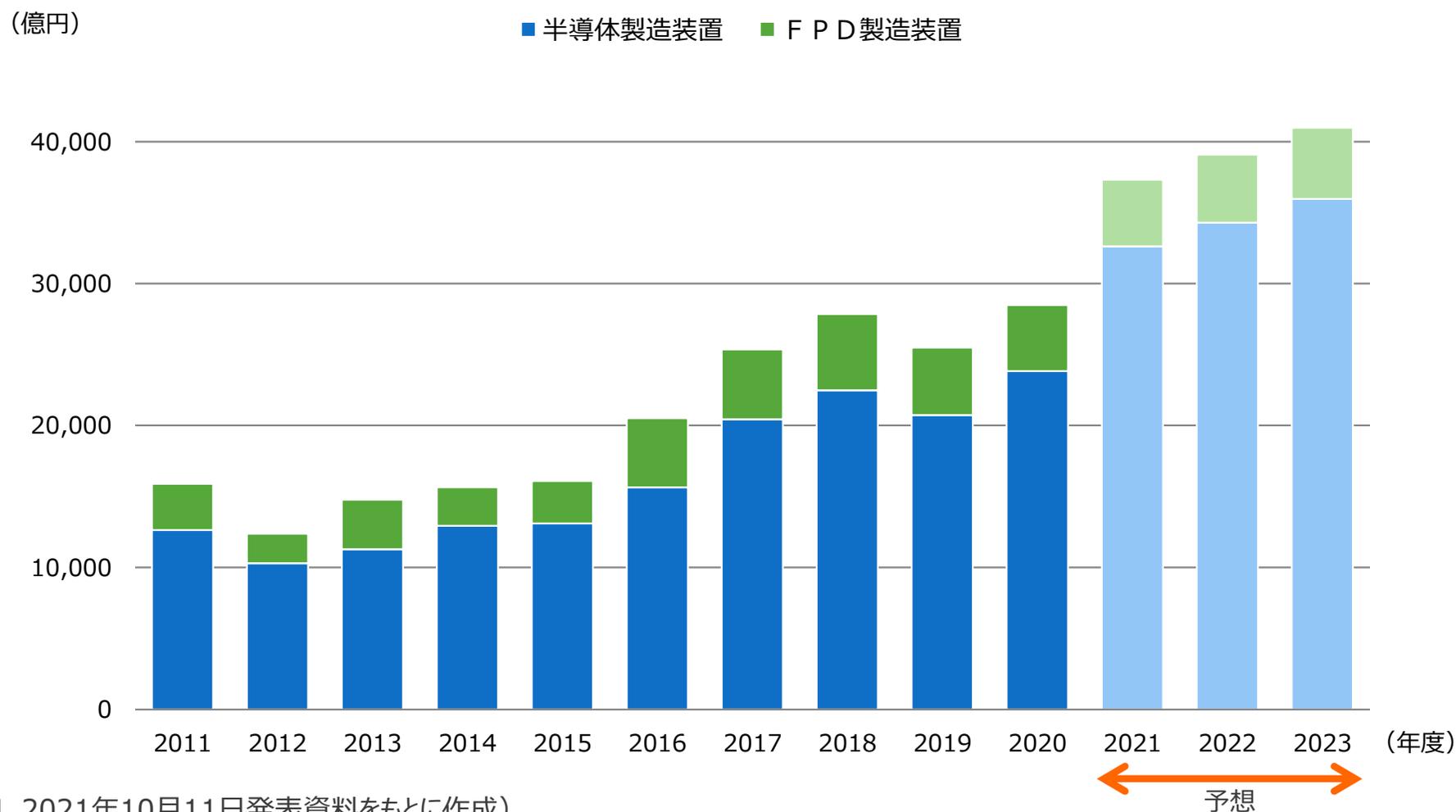
利益増加に加え、原材料確保のための先行仕入から仕入債務の増加により、営業キャッシュフローは前年同期に比べ拡大  
現金及び現金同等物残高は、101億円に



# 2022年3月期 連結業績予想

## 半導体製造装置を取り巻く環境の好調が続き、SEAJは需要予測を上方修正

### 半導体・FPD装置 日本製装置販売高予想



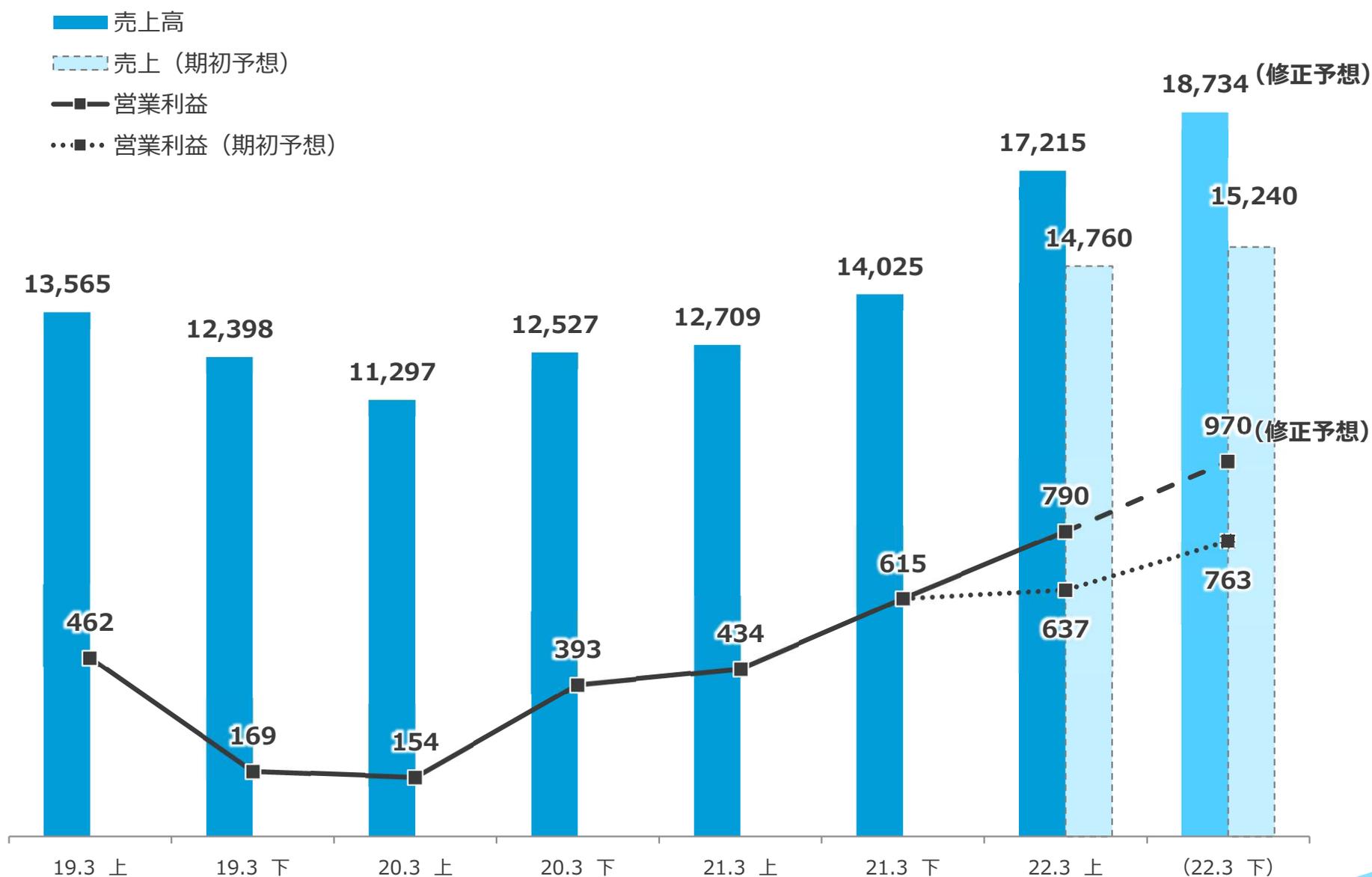
(SEAJ 2021年10月11日発表資料をもとに作成)

## 半導体需要の活況を受けて上方修正 大幅な増収増益を見込む

(百万円、%)

	2021.3期			2022.3期					
	実績	前期比	構成比	修正予想	前期比	構成比	期初予想	上期	上期進捗率 (対修正予想)
売上高	26,734	12.2	100.0	35,950	34.5	100.0	30,000	17,215	47.9
営業利益	1,049	91.5	3.9	1,761	67.9	4.9	1,400	790	44.9
経常利益	1,037	94.3	3.9	1,753	69.0	4.9	1,380	781	44.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	743	2.2倍	2.8	1,146	54.3	3.2	930	527	46.1

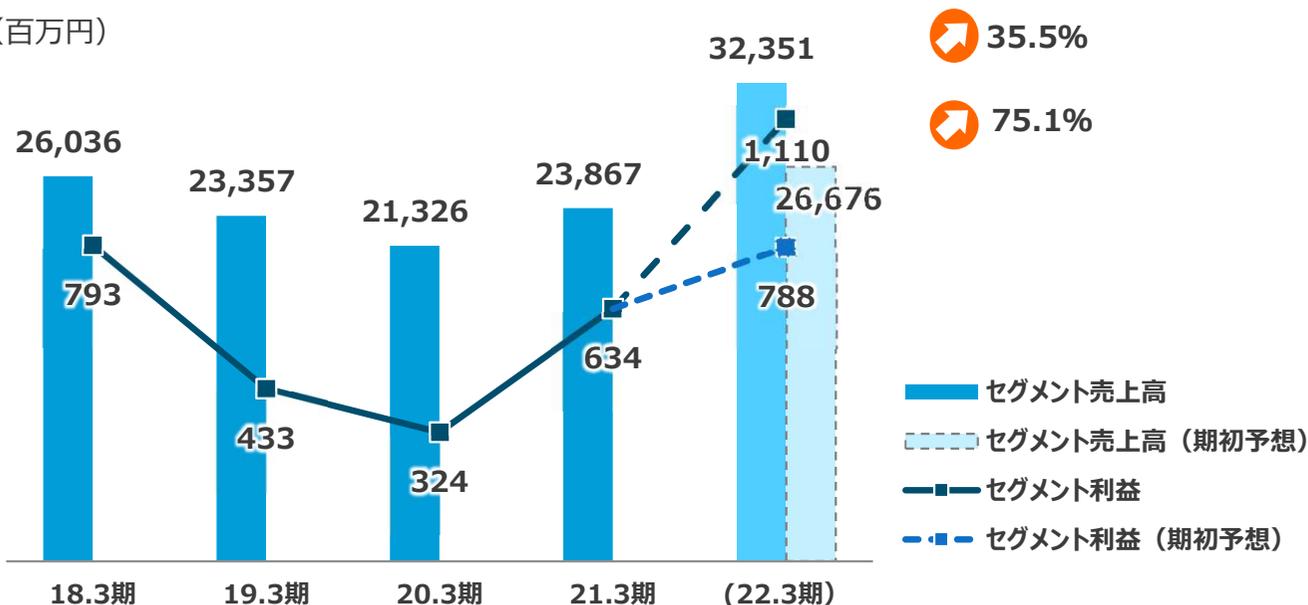
## 期初予想に対して、大幅な増収増益を見込み上方修正



# セグメント予想

## ◆ 販売事業

(百万円)



↗ 35.5%

↗ 75.1%

### セグメント売上高

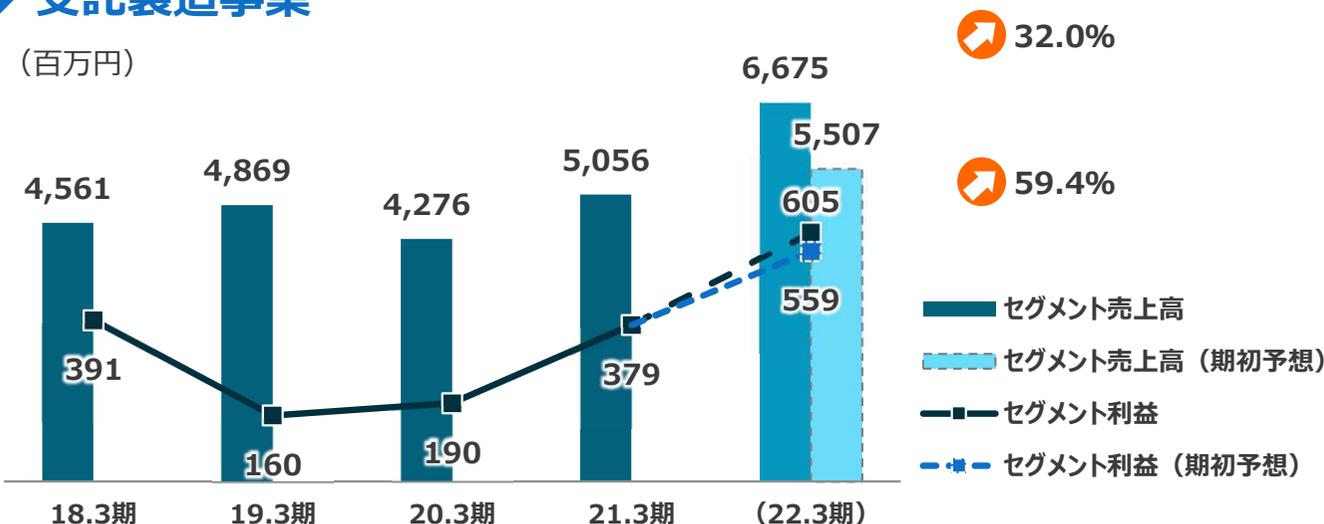
- 先期から続く半導体需要の増加を背景に、ロジック・メモリー投資の更なる拡大を見込み、期初予想を上方修正。

### セグメント利益

- 売上増加及び業務効率化による大幅増益を見込む。

## ◆ 受託製造事業

(百万円)



↗ 32.0%

↗ 59.4%

### セグメント売上高

- 主要顧客の増産により、大幅な増収を予想し、期初予想を上方修正。

### セグメント利益

- 製造人員の増員によるコスト増加を見込むも、損益分岐点操業度の改善や合理化による増益を見込む。

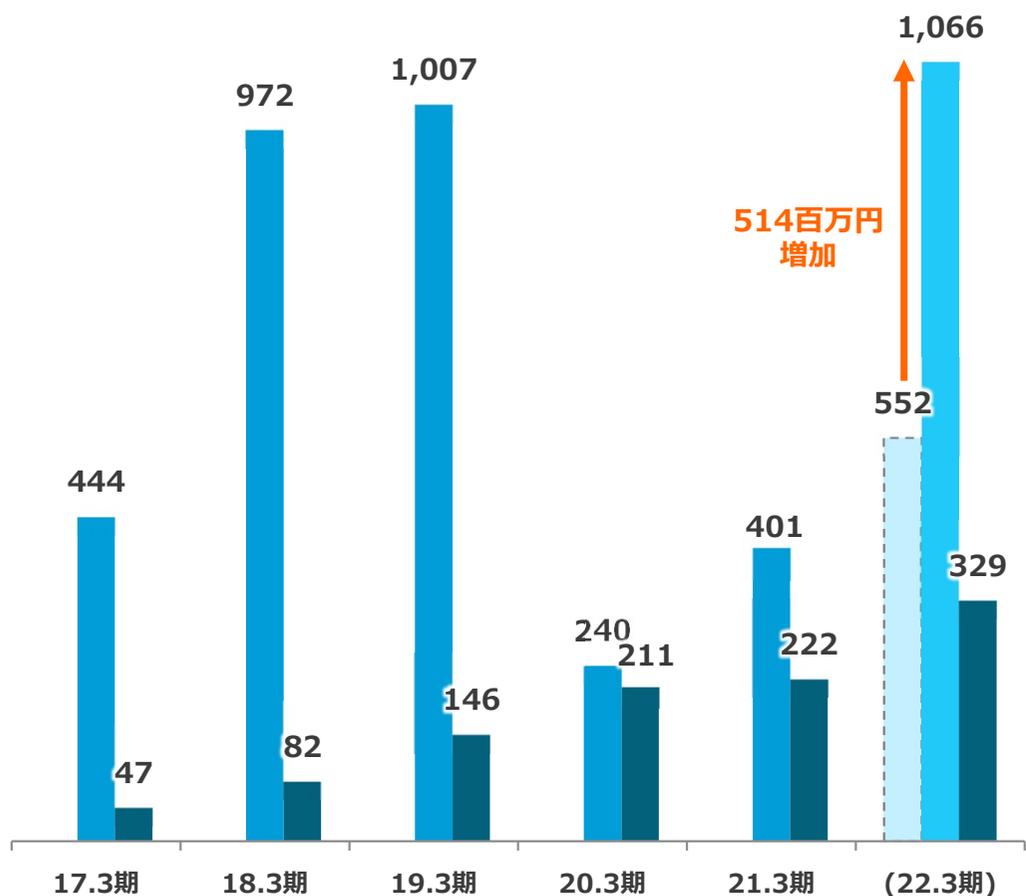
(注) 売上高は連結調整前

## 今後の成長を加速させるため、当初計画を上回る設備投資へ



■ 設備投資(期初計画)  
■ 設備投資  
■ 減価償却費

(百万円)



### 主要設備投資

- **21/3期**
  - ・内外テック 宮城物流センター 新棟増築 3.2億円
- **22/3期予定**
  - ・内外テック 宮城物流センター グループ物流の統合 1.7億円
  - ・内外エレクトロニクス 仙台事業所 クリーンルーム改築 2.2億円
  - ・内外エレクトロニクス 奥州事業所 第二工場新設 6.3億円
- **今後の計画**
  - ・内外エレクトロニクス 奥州事業所 第二工場新設(継続)
  - ・内外エレクトロニクス 福島事業所 工場増築
  - ・内外テック 製品自社開発のための開発リソース確保

## 製品開発力・生産能力の更なる強化のために、計画を上方修正

- 半導体市場の需要拡大への生産対応、及び顧客からのより高機能・高性能の要求が高まる真空／制御技術に対応する開発力強化のため、当初計画より投資を拡大

当初計画			変更後		
内外テック 宮城物流センター グループ物流の統合	2021年 11月 竣工予定	1.7億円	内外テック 宮城物流センター グループ物流の統合	2021年 11月 竣工予定	1.7億円
内外エレクトロニクス 仙台事業所 クリーンルーム改築	2022年 2月 竣工予定	3.3億円	内外エレクトロニクス 仙台事業所 クリーンルーム改築	2022年 2月 竣工予定	3.3億円
内外エレクトロニクス 東北地区 新工場新設		6.0億円	内外エレクトロニクス 奥州事業所 第二工場新設	2022年 10月 竣工予定	19.3億円
内外テック 開発リソース確保		3.4億円	内外テック 奥州開発センター		
			内外テック 入江工研株式会社との 資本提携	2021年 3月 実施済	0.5億円
			内外エレクトロニクス 福島事業所 工場増築	2022年 10月 竣工予定	2.1億円



内外エレクトロニクス  
奥州事業所第二工場  
土地：8,666m<sup>2</sup>  
延床面積：6,770m<sup>2</sup>



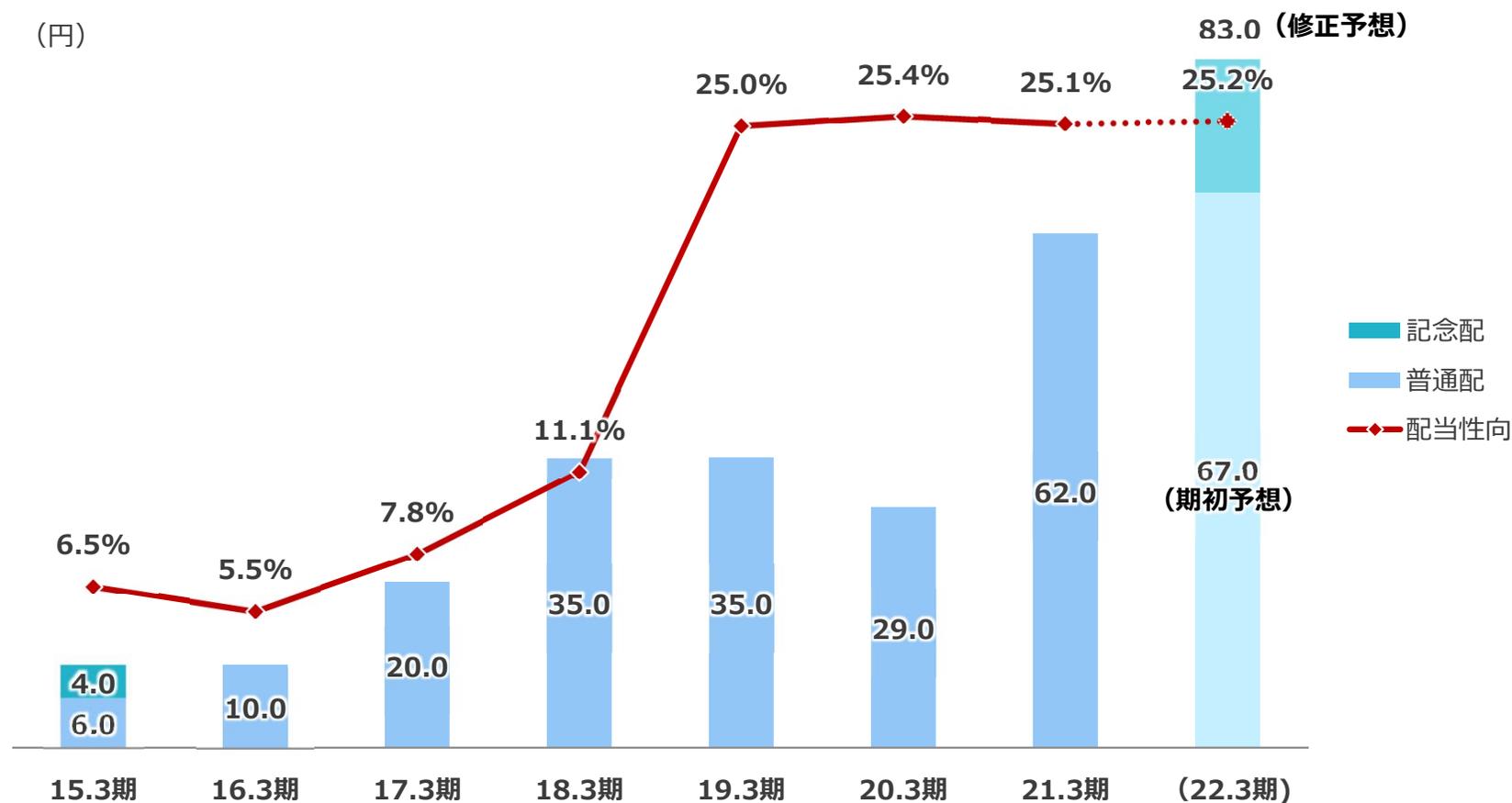
宮城物流センター



内外エレクトロニクス  
仙台事業所

## 連結配当性向25%程度を基準

- 2022年3月期の配当予想は、期末予想の修正を受けて、増額を見込む



(注) 配当金は、2016年10月1日付の株式併合2→1株を考慮して過去遡及した数値を記載。

# **(参考資料)**

## **会社概要**

# 会社概要

所在地	東京都世田谷区三軒茶屋
設立	1961年6月
事業内容	半導体製造装置の部品の仕入販売、受託製造が2本柱
従業員数	連結 605名 (2021年9月末)
連結子会社	内外エレクトロニクス 株式会社 納宜伽機材 (上海) 商貿有限公司

内外テックの営業所・物流センター・開発センター ○  
内外エレクトロニクスの事業所・サービスセンター(SC) ★

中国・上海



納宜伽機材 (上海)



## 半導体製造工程概要



5G対応のスマートフォンや基地局向け、自動車の自動運転向けなど半導体の需要増を背景に、前工程装置の設備投資の再拡大が見込まれる。

内外テック  
技術提案商社

+

内外エレクトロニクス  
受託製造メーカー

= モノづくりができるメーカー商社

本日はありがとうございました。

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、その実現・達成を保証、約束するものではなく、また、その情報の正確性、完全性を保証、約束するものではありません。
- 銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



『ものづくり』を支える

メカニカルソリューション

内外テック株式会社